

巻頭言

少子高齢化が求めるプロアクティブ・アプローチ

ページ
3

岡本 憲之 (おかもと のりゆき)

一般社団法人高齢者活躍支援協議会 理事
高齢社会NGO連携協議会 理事

1947年生まれ。東京大学工学部卒業。専門はシステム工学、社会システム。三菱総合研究所の取締役、上席研究理事のほか、政府資源調査会専門委員、一橋大学大学院客員教授、日本シンクタンクアカデミー理事長、高齢者活躍支援協議会理事長、科学技術振興機構高齢社会研究開発領域アドバイザーなども務めた。著書に「エイジノミクスで日本は蘇る」(NHK出版新書) などがある。ダイヤ高齢社会研究財団 利益相反マネジメント委員会委員。

フォーカス
高齢社会

いわゆる健康食品の利用と栄養素摂取量に関する疫学研究

4

杉本 南 (すぎもと みなみ)

東邦大学 医学部 社会医学講座衛生学分野 助教

東京大学農学部卒業。東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻専門職学位課程修了(公衆衛生学修士)、健康科学・看護学専攻博士後期課程修了(保健学博士)。東京大学未来ビジョン研究センター特任研究員を経て、2022年より現職。研究分野は、公衆衛生学、栄養疫学。日本人の健康食品の利用に関する研究のほか、就労者の昼食、食に関する環境影響や、持続可能な食品構成の探索などのテーマでも研究を行っている。

Dia
Report

日本老年社会学会第67回大会 自主企画フォーラム

仕事と介護の両立～プレ介護期からの企業の関わり

8

安 順姫 (あん じゅんぎ)

ダイヤ高齢社会研究財団 研究部 博士研究員

2023年桜美林大学大学院老年学研究科博士後期課程修了。博士(老年学)。ダイヤ高齢社会研究財団研究助手・研究員を経て2024年4月より現職。専門は老年学。財団では「仕事と介護の両立支援に関する研究」を担当。研究テーマは、仕事と介護の両立支援、高齢者の精神的健康の維持・増進など。

財団
研究紹介

外国人介護人材に焦点を当てた施設防災研究の必要性

12

上原 桃美 (うえはら ももみ)

ダイヤ高齢社会研究財団 研究部 専任研究員

桜美林大学大学院老年学研究科修了。博士(老年学)。2013年入団以降、「生きがい就業の介護予防効果」「シルバー人材センター会員の効果的な健康管理」の共同研究事業を担当。2022年からは、高齢者福祉施設を対象に防災・減災意識の向上に関するテーマを担当。

Dia
Information

14

表紙撮影：五十嵐肇氏「米ねえなしけ油焚いて刈るべ(茨城県竜ケ崎市)」(2023年10月撮影)

※五十嵐氏は、千葉県我孫子市にある448 SCHOOLという写真教室(DAA常磐会員の吉羽健二郎氏ご夫妻が主催)で指導を受け写真を楽しまれています。